

モニタリング

● PC : PC のみ ● LD : ローカルディスプレイ* のみ ● PC ● LD : PC / ローカルディスプレイ* 共通
* ローカルディスプレイ…PC を使わず、DIGISTOR に直接モニターとマウスを接続することで運用できる機能です。

デュアル・モニター ● LD

映像出力用の端子にそれぞれディスプレイを接続し、同時に映像を出力することができます。

映像出力モードは、以下の 4 つから選択できます。※モニターを 2 台接続して同時に表示させる場合、2 台ともフル HD である必要があります。

①複製モード



2つのモニターに**同じ映像を出力**します。

②拡張モード



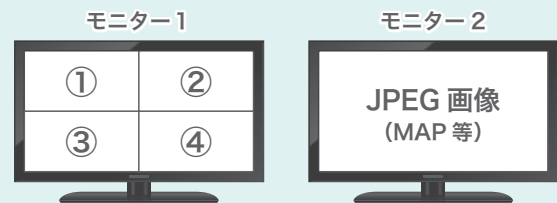
2つのモニターに**異なる映像を出力**します。ただし、同じカメラを2つのモニターに登録することはできません。

③個別モード



2つのモニターに**異なる映像を出力**します。再生時、**モニター1を再生、モニター2をライブ表示**にできます。

④画像表示モード



モニター2にアップロードした画像データを表示することができます。画像データアップロード後、ライブ画面の「画像表示」ボタンより画像を選択してください。

*デュアル・モニター機能を使用する際は、ディスプレイの解像度を合わせてください。
*4K モニター（解像度：3840×2160）使用時、デュアル・モニター機能は使用できません。

多彩な分割表示レイアウト ● PC ● LD

シングルから最大 64 分割まで、多彩なレイアウトを準備しています。

また、2 分割 (1×2/2×1) や 3 分割 (3×1)、5 分割 (5×1)、6 分割 (3×2) など、使いやすいレイアウトもご用意しています。

● 6 分割 [3×2]



※ PC と LD では、L 字型の分割表記が異なります。

● 2 分割 [1×2]



● 2 分割 [2×1]



● 3 分割 [3×1]



● 5 分割 [5×1]



■ イベント発生時のライブ通知 (強調表示・ライブポップアップ・アラート画像表示機能)

■ 強調表示 PC LD

該当するカメラの映像を赤枠で強調表示します。

複数のカメラでイベントが発生した場合、該当するすべてのカメラが強調表示されます。

(主なイベント例) 入退出・工場内機械からの異常信号・AIカメラとの連携 など



■ ライブポップアップ PC LD



■ アラーム画像表示機能 PC

イベントが発生した際に、その時点の状況を右ペイン (画面右側の領域) に静止画として表示させる機能です。



■ インスタント再生 PC LD

選択した DIGISTOR の録画映像を別ウィンドウで再生できる機能です。

再生画面に移行しなくても、録画データを即時に再生することができます。

モニタリングをしているコンビニや警備室、工場等のライブ監視で利用されることが多い機能です。



インスタント再生画面

ライブ映像を右クリックすると、ショートカットメニュー（画像の□）が表示されます。

そのメニュー内にある「インスタント再生」を選択すると、モニタリング画面上に別ウィンドウが表示され、最新のデータから逆再生が始まります。



◀ インスタント再生画面

※ライブ映像表示画面の前面に、別ウィンドウで全画面表示されます。

■ E-MAP 機能 PC

PC を利用してのモニタリングで、マップ機能が使用できます。

ユーザーは、マップを貼り付けてカメラを配置することによって、視覚的にカメラを監視することができます。

配置したカメラアイコンをクリックすることで、小ウィンドウで映像を確認できます。

また、イベント発生時には該当カメラのポップアップ表示をすることもできます。

E-MAP 画像



E-MAP の 主な利用シーン

- ・多数のカメラを設置している。
- ・同じレイアウトの映像を録画している。（ホテルや病院の廊下、工場のラインなど）

■ 全方位カメラの展開 PC LD

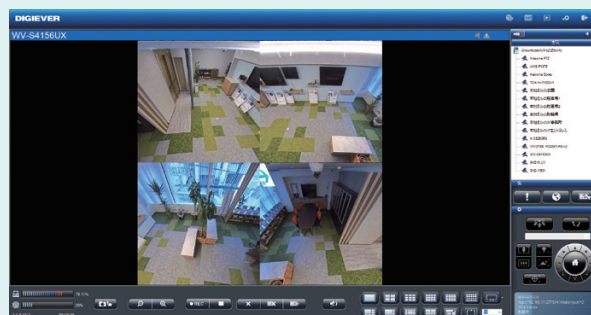
魚眼映像で録画を行いながら、ライブ映像／再生映像／エクスポートした録画データを補正し、4分割表示等で表示することができます。補正した映像は、デジタルPTZ操作を行うことができます。また、分割レイアウトでも魚眼カメラの映像補正を行うことができます。



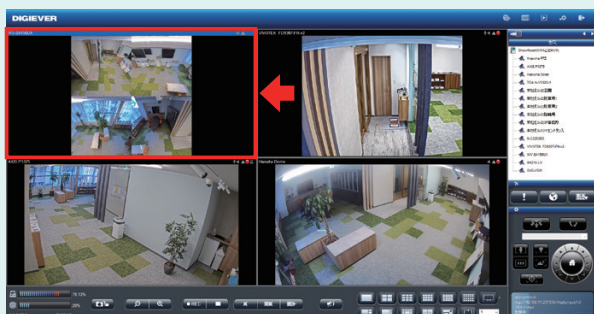
説明動画はコチラ

補正して映像を表示することで、人物や物体の形状等をより鮮明に表示し、視認性を向上させることができます。

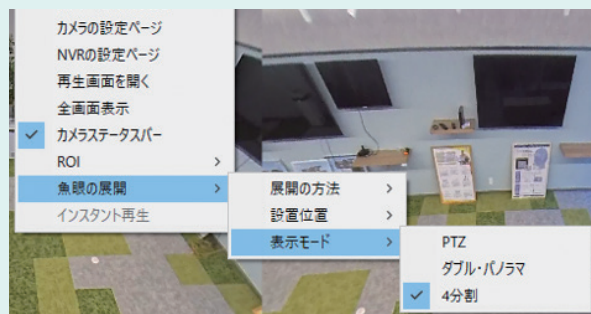
全方位カメラの展開イメージ



分割レイアウトでの展開イメージ



設定画面イメージ



POINT

- ・ライブはもちろん、録画再生やバックアップ中でもデジタルPTZ操作を行うことが可能
- ・専用ビューアを使えば、外出先からの閲覧もOK

■ レイアウト内シーケンシャル機能 PC

任意の枠内に任意のカメラを表示・シーケンシャルすることができます。

特定のカメラを常に表示しておきたい場合などに便利な機能です。

※ PCで「5+1」「12+1」分割のレイアウトのみ使用できます。



①赤枠内のカメラ映像が固定して表示されるように設定。



②赤枠内のカメラ映像が固定して表示され、残りのカメラの映像（黄枠）が切り替わる。

■ グループレイアウト ※開発中の機能です LD

レイアウトをグループ管理することができます。

レイアウトごとに任意のカメラの登録が可能です。

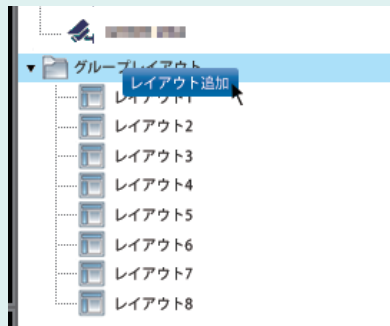
HDMI1 でレイアウト 10 個、HDMI2 でレイアウト 10 個、合計 20 個のレイアウトを作成できます。



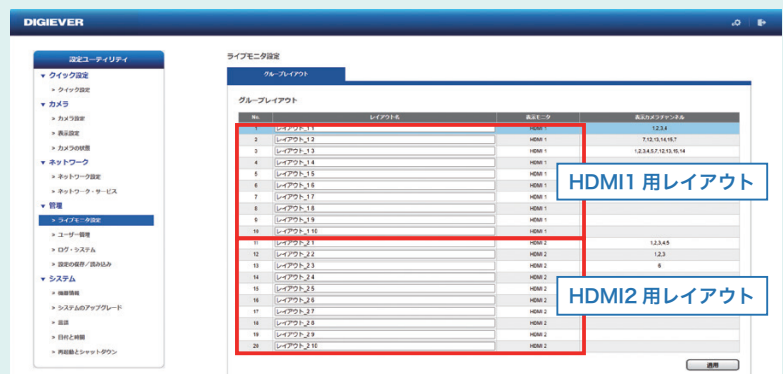
レイアウトの作成

レイアウトの作成は、ライブ画面にて行います。作成したレイアウトは、設定画面より名称を変更できます。

- ①「グループレイアウト」を右クリックし、「レイアウト追加」をクリックすると、レイアウトを作成できます。



- ②設定画面より、レイアウトの情報を確認できます。レイアウト名称の変更も可能です。



■ プリセット巡回グループ作成・スケジュール設定機能 PC LD

PTZ カメラに登録したプリセットポジションの巡回グループを複数作成することができます。

巡回グループの開始/終了時間を設定することも可能です。

活用イメージ
(小売店)



①営業時間中は、売場を巡回するプリセットポジションを巡回



②閉店後は、出入口・通用口などを撮影するプリセットポジションを巡回